平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	特別養護老人ホームサンハイム荒川				
所在地	南千住三丁目14番7号（サンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター併設）				
所管部署	福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費（単位:千円）	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成6年	2,200,000			
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	平成6年10月31日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成7年2月1日		職員数	43	6
構造	ＲＣ造		階層	地上3階　地下1階	
面積	敷地面積		1,706.46㎡		
	延床面積		2,869.14/3,804.66㎡		
設置目的・経緯	家族とともに生活することが困難な介護を要する高齢者に対して、日常生活を営むために必要な介護等を提供する。				
関連部署					
根拠法令等設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立特別養護老人ホーム条例及び規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー対応状況	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	若干数		○ 点字ブロック	● スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人　カメリア会	期間	平成29年度	から
				平成33年度	まで
事業内容	①　生活指導、面接、身上調査、処遇計画の作成及び実施　②　要介護認定・行政手続きの代行 ③　診療の補助、看護、保険衛生に関すること　④　日常生活の上で必要な介護サービスの提供 ⑤　身体機能の維持向上のための機能訓練　⑥　健康管理 ⑦　趣味いきがい活動				
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者				
運営時間等	運営時間	24時間/365日			
	休日	なし			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
特養利用率（%）	95.2	94.8	94.0	89.3	95.0
短期入所利用率（%）	108.3	94.4	112.7	120.6	100

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
特養：定員(人)	56	56	56	56	56
短期入所:定員（人）	12	12	12	12	12
指定管理者の支出合計（千円）	296,282	277,217	281,002	370,207	-
指定管理者の人件費（千円）	172,012	165,169	185,675	204,558	-

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政コスト計算書	行政費用 給与関係費	-	0	-
	物件費	-	1,478	-
	維持補修費	-	0	-
	扶助費	-	0	-
	補助費等	-	0	-
	減価償却費	-	59,938	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-
	その他行政費用	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	61,416	-
	特別費用(g)	-	0	-
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-

勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政収入 地方税等	-	0	-
国庫支出金	-	164	-
都支出金	-	0	-
分担金及び負担金	-	0	-
使用料及び手数料	-	0	-
その他	-	0	-
行政収入合計(a)	-	164	-
行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲ 61,252	-
金融収支差額(d)	-	▲ 245	-
通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲ 61,497	-
特別収入(f)	-	0	-
当期収支差額(e)+(h)	-	▲ 61,497	-

	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
貸借対照表	流動資産 収入未済	-	0	-
	不納欠損引当金	-	0	-
	その他の流動資産	-	▲ 62	-
	固定資産 有形固定資産	-	2,382,777	-
	土地	-	1,491,741	-
	建物	-	2,194,670	-
	建物減価償却累計額	-	▲ 1,303,634	-
	工作物等	-	18,866	-
	工作物等減価償却累計額	-	▲ 18,866	-
	無形固定資産	-	0	-
	建設仮勘定	-	0	-
	その他の固定資産	-	1,363	-
	資産の部合計	-	2,384,140	-

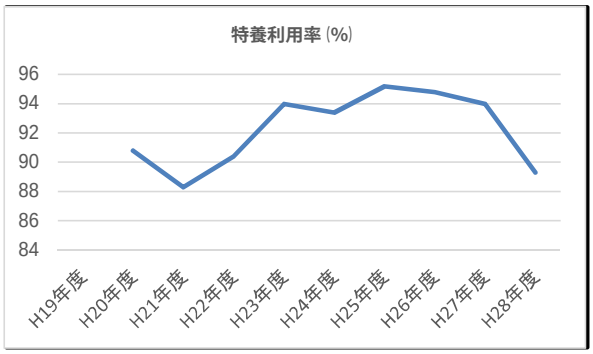
勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動負債	-	2,864	-
還付未済金	-	0	-
特別区債	-	2,806	-
賞与引当金	-	0	-
その他の流動負債	-	58	-
固定負債	-	32,194	-
特別区債	-	32,194	-
退職給与引当金	-	0	-
その他の固定負債	-	0	-
負債の部合計	-	35,058	-
正味財産	-	2,349,082	-
正味財産の部合計	-	2,349,082	-
負債及び正味財産の部合計	-	2,384,140	-

備考	介護保険事業収益により運営を行っており、指定管理委託料は支出していない。物件費には、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」「家族介護者教室」等の業務委託や、防犯カメラ設置費用が含まれる。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	59.7	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	28.1	-
	１㎡あたりコスト（円）	-	-	-	21,406	-
	人にかかるコストの割合（指定管理）（%）	-	-	-	55.3	-
	開館１日当たりコスト（円）	-	-	-	168,263	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無　○ 有　（計画名：　　）						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	利用率(特養)	目標値	100	95	95	95	95
		実績値	95	95	94	89	95
施設運営の方向性	○ 転用･多目的化　○ 民営化　○ 他施設との統合　○ 廃止 ● 現状維持　○ その他（　　）						
管理形態の変更の推移	● 有　（変更内容：平成19年度より委託から指定管理に変更,平成29年度より現指定管理者変更） ○ 無						
現状・課題	○当該施設は、平成29年度より指定管理者が変更となり、利用者に影響のないよう引継ぎがなされているところではあるが、今後、施設が安定的に運営されているかなど注視していくとともに、助言・指導等を行っていくことが必要である。 ○建設から23年経過し、施設設備等老朽化が進んでいるため、改修を実施する必要があるが、入所施設であるため、全面的にサービスを休止し、大規模改修等を実施することが困難である。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○指定管理者との連携を密に安定的な運営が図れるよう支援していく。 ○代替施設の確保や居ながら工事を行う等の改修方法を検討し、実施していく。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。						
議会、利用者等からの意見							



平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	特別養護老人ホームグリーンハイム荒川				
所在地	南千住六丁目36番5号（グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター併設）				
所管部署	福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費（単位:千円）	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成元年	1,000,000			
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	平成1年3月20日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成1年4月1日		職員数	88	6
構造	ＲＣ造		階層	地上4階　地下1階	
面積	敷地面積		2,283.18㎡		
	延床面積		3,501.97/4,198.50㎡		
設置目的・経緯	家族とともに生活することが困難な介護を要する高齢者に対して、日常生活を営むために必要な介護等を提供する。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立特別養護老人ホーム条例及び規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー対応状況	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	若干数		○ 点字ブロック	● スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人　聖風会	期間	平成29年度	から
				平成33年度	まで
事業内容	①　生活指導、面接、身上調査、処遇計画の作成及び実施　②　要介護認定・行政手続きの代行 ③　診療の補助、看護、保険衛生に関すること　④　日常生活の上で必要な介護サービスの提供 ⑤　身体機能の維持向上のための機能訓練　⑥　健康管理 ⑦　趣味いきがい活動				
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者				
運営時間等	運営時間	24時間/365日			
	休日	なし			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
特養利用率（%）	90.4	88.4	92.0	93.2	95.0
短期入所利用率（%）	118.1	118.1	95.5	94.9	100

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
特養：定員(人)	100	100	100	100	100
短期入所:定員（人）	10	10	10	10	10
指定管理者の支出合計（千円）	448,853	442,824	449,678	481,398	-
指定管理者の人件費（千円）	306,350	313,252	318,741	349,259	-

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政費用	給与関係費	-	0	-
	物件費	-	2,305	-
	維持補修費	-	0	-
	扶助費	-	0	-
	補助費等	-	0	-
	減価償却費	-	26,621	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-
	その他行政費用	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	28,926	-
特別費用(g)		-	0	-
特別収支差額(f)-(g)=(h)		-	0	-

行政収入	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
	地方税等	-	0	-
	国庫支出金	-	162	-
	都支出金	-	0	-
	分担金及び負担金	-	0	-
	使用料及び手数料	-	0	-
	その他	-	0	-
	行政収入合計(a)	-	162	-
行政収支差額(a)-(b)=(c)		-	▲ 28,764	-
金融収支差額(d)		-	0	-
通常収支差額(c)+(d)=(e)		-	▲ 28,764	-
特別収入(f)		-	0	-
当期収支差額(e)+(h)		-	▲ 28,764	-

貸借対照表	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動資産	収入未済	-	0	-
	不納欠損引当金	-	0	-
	その他の流動資産	-	▲ 180	-
固定資産	有形固定資産	-	1,024,689	-
	土地	-	753,552	-
	建物	-	1,016,993	-
	建物減価償却累計額	-	▲ 745,857	-
	工作物等	-	6,885	-
	工作物等減価償却累計額	-	▲ 6,884	-
	無形固定資産	-	0	-
	建設仮勘定	-	0	-
	その他の固定資産	-	0	-
資産の部合計		-	1,024,509	-

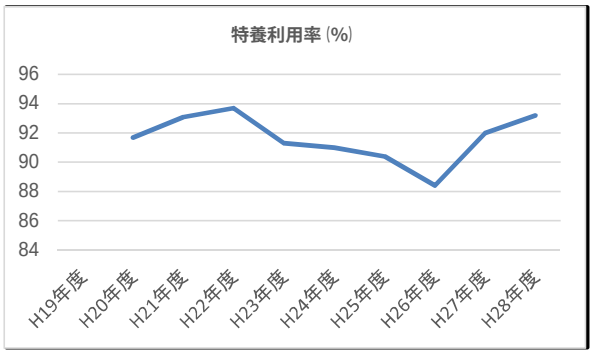
勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動負債	-	0	-
還付未済金	-	0	-
特別区債	-	0	-
賞与引当金	-	0	-
その他の流動負債	-	0	-
固定負債	-	0	-
特別区債	-	0	-
退職給与引当金	-	0	-
その他の固定負債	-	0	-
負債の部合計	-	0	-
正味財産	-	1,024,509	-
正味財産の部合計	-	1,024,509	-
負債及び正味財産の部合計	-	1,024,509	-

備考	介護保険事業収益により運営を行っており、指定管理委託料は支出していない。物件費には、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」「家族介護者教室」等の業務委託や、防犯カメラ設置費用が含まれる。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	73.5	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	34.9	-
	１㎡あたりコスト（円）	-	-	-	8,260	-
	人にかかるコストの割合（指定管理）（%）	-	-	-	72.6	-
	開館１日当たりコスト（円）	-	-	-	79,249	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無　○ 有　（計画名：　　）						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	利用率(特養)	目標値	100	95	95	95	95
		実績値	90	88	92	93	95
施設運営の方向性	○ 転用･多目的化　○ 民営化　○ 他施設との統合　○ 廃止 ● 現状維持　○ その他（　　）						
管理形態の変更の推移	● 有　（変更内容：平成19年度より委託から指定管理に変更　） ○ 無						
現状・課題	○建設から28年経過し、施設設備等老朽化が進んでいるため、改修を実施する必要があるが、入所施設であるため、全面的にサービスを休止し、大規模改修等を実施することが困難である。 ○空床利用のショートステイを実施するなど、現状の利用率を維持、向上させる必要がある。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○代替施設の確保や居ながら工事を行う等の改修方法を検討し、実施していく。 ○可能な限り空床にならないよう、利用者の健康管理の徹底や、やむを得ず発生する空床に対して、ショートステイ利用や早期の新規利用者の入所など、対策に取り組む。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。						
議会、利用者等からの意見							



平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター				
所在地	南千住六丁目36番5号（特別養護老人ホームグリーンハイム荒川併設）				
所管部署	福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費（単位:千円）	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成元年	200,000			
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	平成1年3月14日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成1年4月1日		職員数	21	1
構造	ＲＣ造		階層	地上4階　地下1階	
面積	敷地面積		2,283.18㎡		
	延床面積		696.53/4,198.50㎡		
設置目的・経緯	在宅の虚弱又は機能障害のある高齢者が寝たきりにならないようきめ細やかなサービスを実施。				
関連部署					
根拠法令等設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例及び規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー対応状況	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	若干数		○ 点字ブロック	● スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人　聖風会	期間	平成29年度	から
				平成33年度	まで
事業内容	①　日常生活の上で必要な介護サービスの提供　②　身体機能の維持向上のための機能訓練　③　健康管理に関すること　④　趣味・生きがい活動　⑤　自立した日常生活を送るための日常動作訓練 ⑥　送迎・入浴サービスの提供　⑦　利用者及びその家族からの相談受付、指導・助言				
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者				
運営時間等	運営時間	午前9時から午後5時			
	休日	日曜日、1月1日から1月3日			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
通所介護利用率（%）	80.0	80.4	73.9	62.7	75
営業日数（日）	-	-	-	311	-

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
通所介護：定員(人)	40	40	40	40	40
指定管理者の支出合計（千円）	88,280	92,492	89,924	95,320	-
指定管理者の人件費（千円）	58,703	63,559	64,886	70,860	-

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政費用	給与関係費	-	0	-
	物件費	-	458	-
	維持補修費	-	0	-
	扶助費	-	0	-
	補助費等	-	0	-
	減価償却費	-	5,295	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-
	その他行政費用	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	5,753	-
特別費用(g)		-	0	-
特別収支差額(f)-(g)=(h)		-	0	-

行政収入	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
	地方税等	-	0	-
	国庫支出金	-	0	-
	都支出金	-	0	-
	分担金及び負担金	-	0	-
	使用料及び手数料	-	0	-
	その他	-	0	-
	行政収入合計(a)	-	0	-
行政収支差額(a)-(b)=(c)		-	▲ 5,753	-
金融収支差額(d)		-	0	-
通常収支差額(c)+(d)=(e)		-	▲ 5,753	-
特別収入(f)		-	0	-
当期収支差額(e)+(h)		-	▲ 5,753	-

貸借対照表	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動資産	収入未済	-	0	-
	不納欠損引当金	-	0	-
	その他の流動資産	-	0	-
固定資産	有形固定資産	-	47,698	-
	土地	-	0	-
	建物	-	195,481	-
	建物減価償却累計額	-	▲ 147,783	-
	工作物等	-	1,369	-
	工作物等減価償却累計額	-	▲ 1,369	-
	無形固定資産	-	0	-
	建設仮勘定	-	0	-
	その他の固定資産	-	0	-
資産の部合計		-	47,698	-

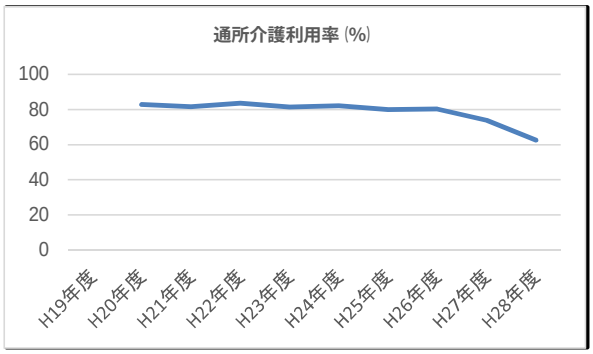
勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動負債	-	0	-
還付未済金	-	0	-
特別区債	-	0	-
賞与引当金	-	0	-
その他の流動負債	-	0	-
固定負債	-	0	-
特別区債	-	0	-
退職給与引当金	-	0	-
その他の固定負債	-	0	-
負債の部合計	-	0	-
正味財産	-	47,698	-
正味財産の部合計	-	47,698	-
負債及び正味財産の部合計	-	47,698	-

備考	介護保険事業収益により運営を行っており、指定管理委託料は支出していない。物件費には、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」「家族介護者教室」等の業務委託や、防犯カメラ設置費用が含まれる。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	74.5	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	34.9	-
	１㎡あたりコスト（円）	-	-	-	8,260	-
	人にかかるコストの割合（指定管理）（%）	-	-	-	74.3	-
	開館１日当たりコスト（円）	-	-	-	18,498	-
	延べ利用者１人当たりコスト（円）	-	-	-	738	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	●　無　　○　有　（計画名：　　）						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	利用率(通所介護)	目標値	80	80	80	75	75
		実績値	80	80	74	63	75
施設運営の方向性	○　転用･多目的化　○　民営化　○　他施設との統合　○　廃止 ●　現状維持　○　その他（　　）						
管理形態の変更の推移	●　有　（変更内容：平成19年度より委託から指定管理に変更　　） ○　無						
現状・課題	○建設から28年経過し、施設設備等老朽化が進んでおり、併設である入所施設と調整の上、計画的に改修を実施する必要がある。 ○平成28年度の利用率は62.7%で、十分な利用率とは言えず、利用率を向上させるための改善が必要である。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○利用者の利便性に配慮し、施設の機能、性能の保全に努めながら計画的に改修を実施する。 ○利用者のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、さらなる周知を図っていく。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。						
議会、利用者等からの意見							



平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	町屋在宅高齢者通所サービスセンター				
所在地	町屋七丁目2番15号（区営町屋七丁目住宅併設）				
所管部署	福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費（単位:千円）	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成5年	500,000			
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	平成5年2月16日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成5年3月23日		職員数	23	0
構造	ＳＲＣ造		階層	地上8階　地下1階	
面積	敷地面積		580.46㎡		
	延床面積		912.17/2,131.88㎡		
設置目的・経緯	在宅の虚弱又は機能障害のある高齢者が寝たきりにならないようきめ細やかなサービスを実施。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例及び規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー対応状況	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無		○ 点字ブロック	● スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人　聖風会	期間	平成26年度	から
				平成30年度	まで
事業内容	①　日常生活の上で必要な介護サービスの提供　②　身体機能の維持向上のための機能訓練 ③　健康管理に関すること　④　趣味・生きがい活動　⑤　自立した日常生活を送るための日常動作訓練　⑥　送迎・入浴サービスの提供　⑦　利用者及びその家族からの相談受付、指導・助言				
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者				
運営時間等	運営時間	午前9時から午後5時			
	休日	日曜日、1月1日から1月3日			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
通所介護利用率（%）	78.4	80.7	78.0	78.0	75.0
営業日数（日）	—	—	—	311	—

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
通所介護：定員（人）	40	40	40	40	40
指定管理者の支出合計（千円）	108,140	106,697	107,354	108,157	—
指定管理者の人件費（千円）	69,554	75,401	77,415	79,448	—

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

	勘定科目	H27年度	H28年度	差額	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政コスト計算書	行政費用：給与関係費	-	0	-	行政収入：地方税等	-	0	-
	物件費	-	3,928	-	国庫支出金	-	0	-
	維持補修費	-	0	-	都支出金	-	0	-
	扶助費	-	0	-	分担金及び負担金	-	0	-
	補助費等	-	0	-	使用料及び手数料	-	0	-
	減価償却費	-	13,958	-	その他	-	0	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-	行政収入合計(a)	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-	行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲ 17,886	-
	その他行政費用	-	0	-	金融収支差額(d)	-	▲ 266	-
	行政費用合計(b)	-	17,886	-	通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲ 18,152	-
	特別費用(g)	-	0	-	特別収入(f)	-	0	-
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-	当期収支差額(e)+(h)	-	▲ 18,152	-

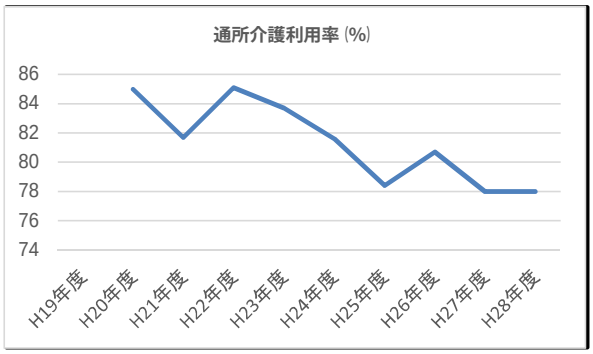
	勘定科目	H27年度	H28年度	差額	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
貸借対照表	流動資産：収入未済	-	0	-	流動負債	-	3,046	-
	不納欠損引当金	-	0	-	還付未済金	-	0	-
	その他の流動資産	-	▲ 180	-	特別区債	-	3,046	-
	固定資産：有形固定資産	-	723,773	-	賞与引当金	-	0	-
	土地	-	549,000	-	その他の流動負債	-	0	-
	建物	-	496,514	-	固定負債	-	34,954	-
	建物減価償却累計額	-	▲ 321,741	-	特別区債	-	34,954	-
	工作物等	-	11,425	-	退職給与引当金	-	0	-
	工作物等減価償却累計額	-	▲ 11,425	-	その他の固定負債	-	0	-
	無形固定資産	-	0	-	負債の部合計	-	38,000	-
	建設仮勘定	-	0	-	正味財産	-	687,803	-
	その他の固定資産	-	2,210	-	正味財産の部合計	-	687,803	-
	資産の部合計	-	725,983	-	負債及び正味財産の部合計	-	725,983	-

備考	介護保険事業収益により運営を行っており、指定管理委託料は支出していない。物件費は、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」「家族介護者教室」「談話室運営費」等、業務委託料に3,482千円、防犯カメラ設置に446千円。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	65.6	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	31.6	-
	１㎡あたりコスト（円）	-	-	-	19,608	-
	人にかかるの割合（指定管理）（%）	-	-	-	73.5	-
	開館１日当たりコスト（円）	-	-	-	57,511	-
	延べ利用者１人当たりコスト（円）	-	-	-	1,843	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無　○ 有　（計画名：　　）						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	利用率(通所介護)	目標値	80	80	80	75	75
		実績値	78	81	78	78	75
施設運営の方向性	○ 転用･多目的化　○ 民営化　○ 他施設との統合　○ 廃止 ● 現状維持　○ その他（　　）						
管理形態の変更の推移	● 有　（変更内容：平成18年度より委託から指定管理に変更　　） ○ 無						
現状・課題	○建設から24年経過し、施設設備等の老朽化が進んでいる。 ○平成28年度の利用率は78%と良好である。引き続き利用率の維持もしくは低下しないようにする必要がある。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○利用者の利便性に配慮し、施設の機能、性能の保全に努めながら計画的に改修を実施する。 ○利用者のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、さらなる周知を図っていく。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。						
議会、利用者等からの意見							



平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川				
所在地	荒川五丁目47番2号（花の木ハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター併設）				
所管部署	福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費（単位:千円）	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成11年	1,800,000			
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	平成11年2月8日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成11年4月1日		職員数	35	0
構造	ＲＣ造		階層	地上4階　地下1階	
面積	敷地面積		1,585.62㎡		
	延床面積		2，970.05/3,840.47㎡		
設置目的・経緯	家族とともに生活することが困難な介護を要する高齢者に対して、日常生活を営むために必要な介護等を提供する。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立特別養護老人ホーム条例及び規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー対応状況	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	若干数		○ 点字ブロック	● スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人　上智社会事業団	期間	平成29年度	から
				平成33年度	まで
事業内容	①　生活指導、面接、身上調査、処遇計画の作成及び実施　②　要介護認定・行政手続きの代行 ③　診療の補助、看護、保険衛生に関すること　④　日常生活の上で必要な介護サービスの提供 ⑤　身体機能の維持向上のための機能訓練　⑥　健康管理 ⑦　趣味いきがい活動				
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者				
運営時間等	運営時間	24時間/365日			
	休日	なし			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
特養利用率（%）	97.0	98.0	98.0	95.9	95.0
短期入所利用率（%）	82.0	79.0	79.0	75.3	100.0

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
特養：定員（人）	50	50	50	50	50
短期入所:定員（人）	6	6	6	6	6
指定管理者の支出合計（千円）	257,970	240,182	231,106	236,486	-
指定管理者の人件費（千円）	172,385	163,015	159,229	165,428	-

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政費用	給与関係費	-	0	-
	物件費	-	3,992	-
	維持補修費	-	0	-
	扶助費	-	0	-
	補助費等	-	0	-
	減価償却費	-	48,727	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-
	その他行政費用	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	52,719	-
特別費用(g)		-	0	-
特別収支差額(f)-(g)=(h)		-	0	-

行政収入	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
	地方税等	-	0	-
	国庫支出金	-	161	-
	都支出金	-	0	-
	分担金及び負担金	-	0	-
	使用料及び手数料	-	0	-
	その他	-	0	-
	行政収入合計(a)	-	161	-
行政収支差額(a)-(b)=(c)		-	▲ 52,558	-
金融収支差額(d)		-	▲ 2,433	-
通常収支差額(c)+(d)=(e)		-	▲ 54,991	-
特別収入(f)		-	0	-
当期収支差額(e)+(h)		-	▲ 54,991	-

貸借対照表	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動資産	収入未済	-	0	-
	不納欠損引当金	-	0	-
	その他の流動資産	-	▲ 50	-
固定資産	有形固定資産	-	1,669,889	-
	土地	-	762,575	-
	建物	-	1,765,201	-
	建物減価償却累計額	-	▲ 857,888	-
	工作物等	-	36,171	-
	工作物等減価償却累計額	-	▲ 36,171	-
	無形固定資産	-	0	-
	建設仮勘定	-	0	-
	その他の固定資産	-	7,365	-
資産の部合計		-	1,677,204	-

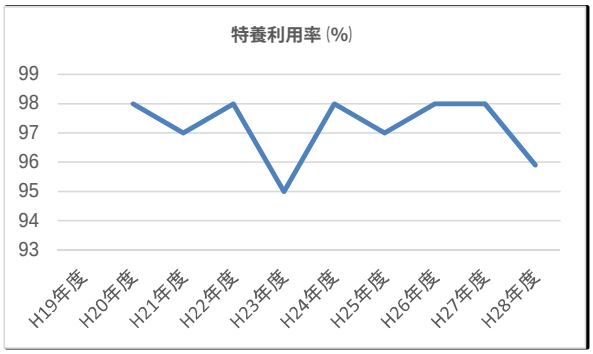
勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動負債	-	46,250	-
還付未済金	-	0	-
特別区債	-	46,250	-
賞与引当金	-	0	-
その他の流動負債	-	0	-
固定負債	-	33,495	-
特別区債	-	33,495	-
退職給与引当金	-	0	-
その他の固定負債	-	0	-
負債の部合計	-	79,745	-
正味財産	-	1,597,459	-
正味財産の部合計	-	1,597,459	-
負債及び正味財産の部合計	-	1,677,204	-

備考	介護保険事業収益により運営を行っており、指定管理委託料は支出していない。物件費には、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」「家族介護者教室」等の業務委託や、防犯カメラ設置費用が含まれる。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	49.6	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	24.1	-
	１㎡あたりコスト（円）	-	-	-	17,750	-
	人にかかるコストの割合（指定管理）（%）	-	-	-	70.0	-
	開館１日当たりコスト（円）	-	-	-	144,436	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無　○ 有　(計画名：　)						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	利用率(特養)	目標値	100	95	95	95	95
		実績値	97	98	98	96	95
施設運営の方向性	○ 転用･多目的化　○ 民営化　○ 他施設との統合　○ 廃止 ● 現状維持　○ その他（　）						
管理形態の変更の推移	● 有　(変更内容：平成19年度より委託から指定管理に変更　) ○ 無						
現状・課題	○建設から18年経過し、施設設備等老朽化が進んでいるため、改修を実施する必要があるが、入所施設であるため、全面的にサービスを休止し、大規模改修等を実施することが困難である。 ○空床利用のショートステイを実施するなど、現状の利用率を維持、向上させる必要がある。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○代替施設の確保や居ながら工事を行う等の改修方法を検討し、実施していく。 ○可能な限り空床にならないよう、利用者の健康管理の徹底や、やむを得ず発生する空床に対して、ショートステイ利用や早期の新規利用者の入所など、対策に取り組む。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。						
議会、利用者等からの意見							



平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	サンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター				
所在地	南千住三丁目14番7号（特別養護老人ホームサンハイム荒川併設）				
所管部署	福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費（単位:千円）	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成6年	700,000			
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	平成6年10月31日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成7年2月1日		職員数	13	1
構造	ＲＣ造		階層	地上3階　地下1階	
面積	敷地面積		1,706.46㎡		
	延床面積		935.52/3,804.66㎡		
設置目的・経緯	在宅の虚弱又は機能障害のある高齢者が寝たきりにならないようきめ細やかなサービスを実施。				
関連部署					
根拠法令等設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例及び規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー対応状況	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	若干数		○ 点字ブロック	● スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人　カメリア会	期間	平成29年度	から
				平成33年度	まで
事業内容	①　日常生活の上で必要な介護サービスの提供　②　身体機能の維持向上のための機能訓練　③　健康管理に関すること　④　趣味・生きがい活動　⑤　自立した日常生活を送るための日常動作訓練　⑥　送迎・入浴サービスの提供　⑦　利用者及びその家族からの相談受付、指導・助言				
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者				
運営時間等	運営時間	午前8時から午後5時15分			
	休日	日曜・12月29日～1月3日			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
通所介護利用率（%）	85.1	80.7	90.4	80.4	75.0
営業日数	-	-	-	309	-

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
通所介護:定員(人)	35	35	35	35	35
認知症対応型通所介護:定員（人）	12	12	12	0	0
（認知は27年度末をもって廃止）					
指定管理者の支出合計（千円）	85,951	89,165	89,205	82,172	-
指定管理者の人件費（千円）	58,248	58,129	61,524	57,265	-

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政費用	給与関係費	-	0	-
	物件費	-	482	-
	維持補修費	-	0	-
	扶助費	-	0	-
	補助費等	-	0	-
	減価償却費	-	19,322	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-
	その他行政費用	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	19,804	-
特別費用(g)		-	0	-
特別収支差額(f)-(g)=(h)		-	0	-

行政収入	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
	地方税等	-	0	-
	国庫支出金	-	0	-
	都支出金	-	0	-
	分担金及び負担金	-	0	-
	使用料及び手数料	-	0	-
	その他	-	0	-
	行政収入合計(a)	-	0	-
行政収支差額(a)-(b)=(c)		-	▲ 19,804	-
金融収支差額(d)		-	0	-
通常収支差額(c)+(d)=(e)		-	▲ 19,804	-
特別収入(f)		-	0	-
当期収支差額(e)+(h)		-	▲ 19,804	-

貸借対照表	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動資産	収入未済	-	0	-
	不納欠損引当金	-	0	-
	その他の流動資産	-	0	-
固定資産	有形固定資産	-	290,553	-
	土地	-	0	-
	建物	-	715,647	-
	建物減価償却累計額	-	▲ 425,094	-
	工作物等	-	0	-
	工作物等減価償却累計額	-	0	-
	無形固定資産	-	0	-
	建設仮勘定	-	0	-
	その他の固定資産	-	0	-
資産の部合計		-	290,553	-

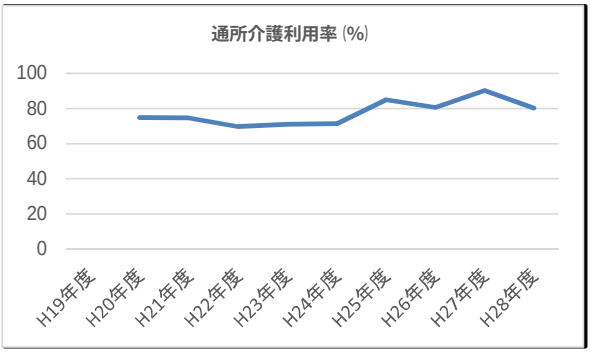
勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動負債	-	0	-
還付未済金	-	0	-
特別区債	-	0	-
賞与引当金	-	0	-
その他の流動負債	-	0	-
固定負債	-	0	-
特別区債	-	0	-
退職給与引当金	-	0	-
その他の固定負債	-	0	-
負債の部合計	-	0	-
正味財産	-	290,553	-
正味財産の部合計	-	290,553	-
負債及び正味財産の部合計	-	290,553	-

備考	介護保険事業収益により運営を行っており、指定管理委託料は支出していない。物件費には、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」「家族介護者教室」等の業務委託や、防犯カメラ設置費用が含まれる。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	59.4	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	27.5	-
	１㎡あたりコスト（円）	-	-	-	21,169	-
	人にかかるコストの割合（指定管理）（%）	-	-	-	69.7	-
	開館１日当たりコスト（円）	-	-	-	64,091	-
	延べ利用者１人当たりコスト（円）	-	-	-	2,278	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無　○ 有　（計画名：　　）						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	利用率(通所介護)	目標値	80	80	80	75	75
		実績値	85	81	90	80	75
施設運営の方向性	○ 転用･多目的化　○ 民営化　○ 他施設との統合　○ 廃止 ● 現状維持　○ その他（　　）						
管理形態の変更の推移	● 有　（変更内容：平成19年度より委託から指定管理に変更,平成29年度より現指定管理者に変更） ○ 無						
現状・課題	○当該施設は、平成29年度より指定管理者が変更となり、利用者に影響のないよう引継ぎがなされているところではあるが、今後、施設が安定的に運営されているかなど注視していくとともに、助言・指導等を行っていくことが必要である。 ○建設から23年経過し、施設設備等老朽化が進んでおり、併設である入所施設と調整の上、計画的に改修を実施する必要がある。 ○平成28年度の利用率は80.4%と良好である。引き続き利用率の維持もしくは低下しないようにする必要がある。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○指定管理者との連携を密に安定的な運営が図れるよう支援していく。 ○利用者の利便性に配慮し、施設の機能、性能の保全に努めながら計画的に改修を実施する。 ○利用者のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、さらなる周知を図っていく。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。						
議会、利用者等からの意見							



平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	南千住中部在宅高齢者通所サービスセンター				
所在地	南千住四丁目9番6号				
所管部署	福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費(単位:千円)	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成12年	400,000			
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	平成12年2月28日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成12年4月1日		職員数	13	2
構造	ＲＣ造		階層	地上2階	
面積	敷地面積		1,167.78㎡（都有地）		
	延床面積		948.33㎡		
設置目的・経緯	在宅の虚弱又は機能障害のある高齢者が寝たきりにならないようきめ細やかなサービスを実施。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例及び規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー対応状況	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無		○ 点字ブロック	● スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人　聖風会	期間	平成26年度	から
				平成30年度	まで
事業内容	①　日常生活の上で必要な介護サービスの提供　②　身体機能の維持向上のための機能訓練 ③　健康管理に関すること　④　趣味・生きがい活動　⑤　自立した日常生活を送るための日常動作訓練　⑥　送迎・入浴サービスの提供　⑦　利用者及びその家族からの相談受付、指導・助言				
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者				
運営時間等	運営時間	午前8時50分から午後5時30分			
	休日	日曜日、1月1日から1月3日			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
通所介護利用率（%）	76.7	86.4	78.1	72.7	75.0
営業日数（日）	-	-	-	311	-

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
通所介護：定員（人）	30	30	30	30	30
指定管理者の支出合計（千円）	72,501	78,145	71,168	74,343	-
指定管理者の人件費（千円）	50,622	55,386	49,887	52,735	-

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

	勘定科目	H27年度	H28年度	差額	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政コスト計算書	行政費用：給与関係費	-	0	-	行政収入：地方税等	-	0	-
	物件費	-	1,079	-	国庫支出金	-	0	-
	維持補修費	-	724	-	都支出金	-	0	-
	扶助費	-	0	-	分担金及び負担金	-	0	-
	補助費等	-	704	-	使用料及び手数料	-	0	-
	減価償却費	-	11,242	-	その他	-	0	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-	行政収入合計(a)	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-	行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲ 13,749	-
	その他行政費用	-	0	-	金融収支差額(d)	-	▲ 1,121	-
	行政費用合計(b)	-	13,749	-	通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲ 14,870	-
	特別費用(g)	-	0	-	特別収入(f)	-	0	-
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-	当期収支差額(e)+(h)	-	▲ 14,870	-

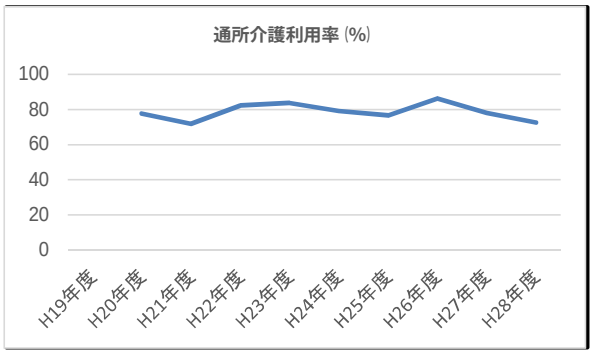
	勘定科目	H27年度	H28年度	差額	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
貸借対照表	流動資産：収入未済	-	0	-	流動負債	-	17,348	-
	不納欠損引当金	-	0	-	還付未済金	-	0	-
	その他の流動資産	-	▲ 39	-	特別区債	-	17,287	-
	固定資産：有形固定資産	-	225,249	-	賞与引当金	-	0	-
	土地	-	0	-	その他の流動負債	-	61	-
	建物	-	416,357	-	固定負債	-	28,735	-
	建物減価償却累計額	-	▲ 191,108	-	特別区債	-	28,735	-
	工作物等	-	24,418	-	退職給与引当金	-	0	-
	工作物等減価償却累計額	-	▲ 24,418	-	その他の固定負債	-	0	-
	無形固定資産	-	0	-	負債の部合計	-	46,083	-
	建設仮勘定	-	0	-	正味財産	-	185,296	-
	その他の固定資産	-	6,169	-	正味財産の部合計	-	185,296	-
	資産の部合計	-	231,379	-	負債及び正味財産の部合計	-	231,379	-

備考	介護保険事業収益により運営を行っており、指定管理委託料は支出していない。物件費には、業務委託料と防犯ｶﾒﾗ設置設置費用、補助費等には負担金、維持補修費には、入浴機器入れ替えによる浴槽撤去工事費用が含まれている。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	48.9	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	25.6	-
	１㎡あたりコスト（円）	-	-	-	11,774	-
	人にかかるコストの割合（指定管理）（%）	-	-	-	70.9	-
	開館１日当たりコスト（円）	-	-	-	44,209	-
	延べ利用者１人当たりコスト（円）	-	-	-	2,027	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	●　無　　○　有　（計画名：　　）						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	利用率(通所介護)	目標値	80	80	80	75	75
		実績値	77	86	78	73	75
施設運営の方向性	○　転用･多目的化　○　民営化　○　他施設との統合　○　廃止 ●　現状維持　○　その他（　　）						
管理形態の変更の推移	●　有　（変更内容：平成18年度より委託から指定管理に変更　） ○　無						
現状・課題	○建設から17年経過し、施設設備等の老朽化が進んでいる。 ○平成28年度の利用率は72.7%と良好である。低下傾向にある利用率を向上させるための改善が必要である。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○利用者の利便性に配慮し、施設の機能、性能の保全に努めながら計画的に改修を実施する。 ○利用者のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、さらなる周知を図っていく。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。						
議会、利用者等からの意見							



平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	荒川東部在宅高齢者通所サービスセンター				
所在地	荒川一丁目34番6号（荒川老人福祉センター併設）				
所管部署	福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費（単位:千円）	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成6年	600,000			
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	平成6年9月28日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成6年12月1日		職員数	15	6
構造	ＲＣ造		階層	地上4階　地下1階	
面積	敷地面積		777.68㎡		
	延床面積		968.46/2,021.17㎡		
設置目的・経緯	在宅の虚弱又は機能障害のある高齢者が寝たきりにならないようきめ細やかなサービスを実施。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例及び規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー対応状況	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	33台		○ 点字ブロック	● スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人　荒川区社会福祉協議会	期間	平成26年度	から
				平成30年度	まで
事業内容	①　日常生活の上で必要な介護サービスの提供　②　身体機能の維持向上のための機能訓練 ③　健康管理に関すること　④　趣味・生きがい活動　⑤　自立した日常生活を送るための日常動作訓練　⑥　送迎・入浴サービスの提供　⑦　利用者及びその家族からの相談受付、指導・助言				
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者				
運営時間等	運営時間	午前8時30分から午後6時15分			
	休日	日曜日、12月29日から1月3日			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
通所介護利用率（%）	68.2	76.4	86.4	78.9	75.0
認知症対応型通所介護利用率（%）	59.8	34.6	36.5	36.1	50.0
営業日数（日）	-	-	-	308	-

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
通所介護：定員（人）	35	35	35	35	35
認知症対応型通所介護:定員（人）	10	10	10	10	10
指定管理者の支出合計（千円）	93,547	94,240	100,532	98,621	-
指定管理者の人件費（千円）	60,316	60,884	69,499	67,451	-

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政費用	給与関係費	-	0	-
	物件費	-	1,012	-
	維持補修費	-	0	-
	扶助費	-	0	-
	補助費等	-	0	-
	減価償却費	-	19,056	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-
	その他行政費用	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	20,068	-
特別費用(g)		-	0	-
特別収支差額(f)-(g)=(h)		-	0	-

行政収入	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
	地方税等	-	0	-
	国庫支出金	-	0	-
	都支出金	-	0	-
	分担金及び負担金	-	0	-
	使用料及び手数料	-	0	-
	その他	-	0	-
	行政収入合計(a)	-	0	-
行政収支差額(a)-(b)=(c)		-	▲ 20,068	-
金融収支差額(d)		-	0	-
通常収支差額(c)+(d)=(e)		-	▲ 20,068	-
特別収入(f)		-	0	-
当期収支差額(e)+(h)		-	▲ 20,068	-

貸借対照表	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動資産	収入未済	-	0	-
	不納欠損引当金	-	0	-
	その他の流動資産	-	▲ 179	-
固定資産	有形固定資産	-	230,855	-
	土地	-	0	-
	建物	-	714,634	-
	建物減価償却累計額	-	▲ 483,779	-
	工作物等	-	0	-
	工作物等減価償却累計額	-	0	-
	無形固定資産	-	0	-
	建設仮勘定	-	0	-
	その他の固定資産	-	0	-
資産の部合計		-	230,676	-

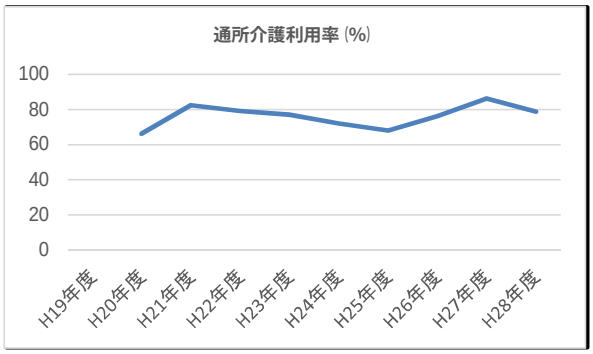
勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動負債	-	1	-
還付未済金	-	0	-
特別区債	-	0	-
賞与引当金	-	0	-
その他の流動負債	-	1	-
固定負債	-	0	-
特別区債	-	0	-
退職給与引当金	-	0	-
その他の固定負債	-	0	-
負債の部合計	-	1	-
正味財産	-	230,675	-
正味財産の部合計	-	230,675	-
負債及び正味財産の部合計	-	230,676	-

備考	介護保険事業収益により運営を行っており、指定管理委託料は支出していない。物件費は、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」「家族介護者教室」等、業務委託料に638千円、防犯カメラ設置に373千円。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	67.7	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	31.3	-
	１㎡あたりコスト（円）	-	-	-	20,722	-
	人にかかるコストの割合（指定管理）（%）	-	-	-	68.4	-
	開館１日当たりコスト（円）	-	-	-	65,156	-
	延べ利用者１人当たりコスト（円）	-	-	-	2,359	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	●　無　　○　有　（計画名：　　）						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	利用率(通所介護)	目標値	80	80	80	75	75
		実績値	68	76	86	79	75
施設運営の方向性	○　転用･多目的化　○　民営化　○　他施設との統合　○　廃止 ●　現状維持　○　その他（　　）						
管理形態の変更の推移	●　有　（変更内容：平成18年度より委託から指定管理に変更　　） ○　無						
現状・課題	○建設から23年経過し、施設設備等の老朽化が進んでいる。 ○平成28年度の利用率は78.9%と良好である。引き続き利用率の維持もしくは低下しないようにする必要がある。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○利用者の利便性に配慮し、施設の機能、性能の保全に努めながら計画的に改修を実施する。 ○利用者のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、さらなる周知を図っていく。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。						
議会、利用者等からの意見							



平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	花の木ハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター				
所在地	荒川五丁目47番2号（特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川併設）				
所管部署	福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費（単位:千円）	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成11年	500,000			
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	平成11年2月8日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成11年4月1日		職員数	10	0
構造	ＲＣ造		階層	地上4階　地下1階	
面積	敷地面積		1,585.62㎡		
	延床面積		870.42/3,840.47㎡		
設置目的・経緯	在宅の虚弱又は機能障害のある高齢者が寝たきりにならないようきめ細やかなサービスを実施。				
関連部署					
根拠法令等設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例及び規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー対応状況	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	若干数		○ 点字ブロック	● スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人　上智社会事業団	期間	平成29年度	から
				平成33年度	まで
事業内容	①　日常生活の上で必要な介護サービスの提供　②　身体機能の維持向上のための機能訓練 ③　健康管理に関すること　④　趣味・生きがい活動　⑤　自立した日常生活を送るための日常動作訓練　⑥　送迎・入浴サービスの提供　⑦　利用者及びその家族からの相談受付、指導・助言				
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者				
運営時間等	運営時間	午前8時45分から午後5時45分			
	休日	土、日曜日　12月31日から1月3日			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
通所介護利用率（%）	64.2	70.3	70.2	65.6	75.0
営業日数（日）	-	-	-	259	-

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
通所介護：定員（人）	40	40	40	40	40
認知症対応型通所介護:定員（人）	12	12	0	0	0
（認知は26年度末をもって廃止）					
指定管理者の支出合計（千円）	70,387	74,648	68,329	67,500	-
指定管理者の人件費（千円）	63,638	57,168	50,711	52,292	-

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政費用	給与関係費	-	0	-
	物件費	-	1,170	-
	維持補修費	-	0	-
	扶助費	-	0	-
	補助費等	-	0	-
	減価償却費	-	13,972	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-
	その他行政費用	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	15,142	-
特別費用(g)		-	0	-
特別収支差額(f)-(g)=(h)		-	0	-

行政収入	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
	地方税等	-	0	-
	国庫支出金	-	0	-
	都支出金	-	0	-
	分担金及び負担金	-	0	-
	使用料及び手数料	-	0	-
	その他	-	0	-
	行政収入合計(a)	-	0	-
行政収支差額(a)-(b)=(c)		-	▲ 15,142	-
金融収支差額(d)		-	▲ 612	-
通常収支差額(c)+(d)=(e)		-	▲ 15,754	-
特別収入(f)		-	0	-
当期収支差額(e)+(h)		-	▲ 15,754	-

貸借対照表	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動資産	収入未済	-	0	-
	不納欠損引当金	-	0	-
	その他の流動資産	-	0	-
固定資産	有形固定資産	-	265,987	-
	土地	-	0	-
	建物	-	517,485	-
	建物減価償却累計額	-	▲ 251,498	-
	工作物等	-	0	-
	工作物等減価償却累計額	-	0	-
	無形固定資産	-	0	-
	建設仮勘定	-	0	-
	その他の固定資産	-	0	-
資産の部合計		-	265,987	-

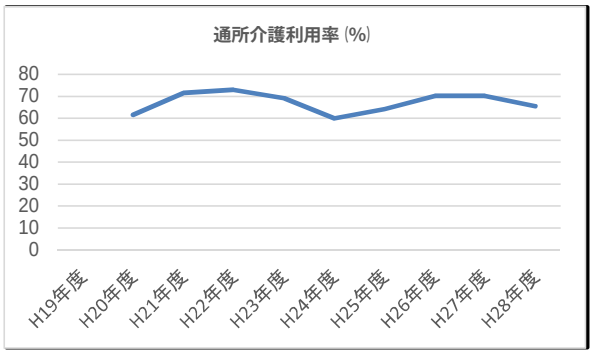
勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動負債	-	11,611	-
還付未済金	-	0	-
特別区債	-	11,611	-
賞与引当金	-	0	-
その他の流動負債	-	0	-
固定負債	-	8,458	-
特別区債	-	8,458	-
退職給与引当金	-	0	-
その他の固定負債	-	0	-
負債の部合計	-	20,069	-
正味財産	-	245,918	-
正味財産の部合計	-	245,918	-
負債及び正味財産の部合計	-	265,987	-

備考	介護保険事業収益により運営を行っており、指定管理委託料は支出していない。物件費には、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」「家族介護者教室」等の業務委託や、防犯カメラ設置費用が含まれる。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	48.6	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	22.5	-
	１㎡あたりコスト（円）	-	-	-	17,396	-
	人にかかるコストの割合（指定管理）（%）	-	-	-	77.5	-
	開館１日当たりコスト（円）	-	-	-	58,463	-
	延べ利用者１人当たりコスト（円）	-	-	-	2,228	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	●　無　　○　有　（計画名：　　）						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	利用率(通所介護)	目標値	80	80	80	75	75
		実績値	64	70	70	66	75
施設運営の方向性	○　転用･多目的化　○　民営化　○　他施設との統合　○　廃止 ●　現状維持　○　その他（平成19年度より委託から指定管理に変更　）						
管理形態の変更の推移	●　有　（変更内容：　　） ○　無						
現状・課題	○建設から18年経過し、施設設備等老朽化が進んでおり、併設である入所施設と調整の上、計画的に改修を実施する必要がある。 ○平成28年度の利用率は65.6%で十分な利用率とは言えず、利用率を向上させるための改善が必要がある。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○利用者の利便性に配慮し、施設の機能、性能の保全に努めながら計画的に改修を実施する。 ○利用者のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、さらなる周知を図っていく。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。						
議会、利用者等からの意見							



平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	西尾久西部在宅高齢者通所サービスセンター				
所在地	西尾久六丁目17番3号（生活実習所併設）				
所管部署	福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費（単位:千円）	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成6年	700,000			
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	平成6年11月7日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成7年4月1日		職員数	14	7
構造	ＲＣ造		階層	地上4階　地下1階	
面積	敷地面積		1,489.14㎡		
	延床面積		1,072.23/2,224.64㎡		
設置目的・経緯	在宅の虚弱又は機能障害のある高齢者が寝たきりにならないようきめ細やかなサービスを実施。				
関連部署					
根拠法令等設置条例	老人福祉法・介護保険法				
駐車場の状況	無	バリアフリー対応状況	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無		○ 点字ブロック	● スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人　荒川区社会福祉協議会	期間	平成26年度	から
				平成30年度	まで
事業内容	①　日常生活の上で必要な介護サービスの提供　②　身体機能の維持向上のための機能訓練　③　健康管理に関すること　④　趣味・生きがい活動　⑤　自立した日常生活を送るための日常動作訓練　⑥　送迎・入浴サービスの提供　⑦　利用者及びその家族からの相談受付、指導・助言				
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者				
運営時間等	運営時間	午前8時30分から午後6時15分			
	休日	日曜日、12月29日から1月3日			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
通所介護利用率（%）	68.0	67.8	84.0	83.3	75.0
認知症対応型通所介護利用率（%）	18.0	20.7	21.0	17.5	50.0
営業日数（日）	-	-	-	308	-

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
通所介護：定員（人）	35	35	35	35	35
認知症対応型通所介護:定員（人）	10	10	10	10	10
指定管理者の支出合計（千円）	89,650	93,208	93,166	94,700	-
指定管理者の人件費（千円）	57,869	60,661	61,277	60,805	-

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政費用	給与関係費	-	0	-
	物件費	-	969	-
	維持補修費	-	0	-
	扶助費	-	0	-
	補助費等	-	0	-
	減価償却費	-	18,969	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-
	その他行政費用	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	19,938	-
特別費用(g)		-	0	-
特別収支差額(f)-(g)=(h)		-	0	-

行政収入	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
	地方税等	-	0	-
	国庫支出金	-	0	-
	都支出金	-	0	-
	分担金及び負担金	-	0	-
	使用料及び手数料	-	0	-
	その他	-	0	-
	行政収入合計(a)	-	0	-
行政収支差額(a)-(b)=(c)		-	▲ 19,938	-
金融収支差額(d)		-	▲ 40	-
通常収支差額(c)+(d)=(e)		-	▲ 19,978	-
特別収入(f)		-	0	-
当期収支差額(e)+(h)		-	▲ 19,978	-

貸借対照表	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動資産	収入未済	-	0	-
	不納欠損引当金	-	0	-
	その他の流動資産	-	▲ 163	-
固定資産	有形固定資産	-	285,241	-
	土地	-	0	-
	建物	-	702,566	-
	建物減価償却累計額	-	▲ 417,325	-
	工作物等	-	8,117	-
	工作物等減価償却累計額	-	▲ 8,117	-
	無形固定資産	-	0	-
	建設仮勘定	-	0	-
	その他の固定資産	-	0	-
資産の部合計		-	285,078	-

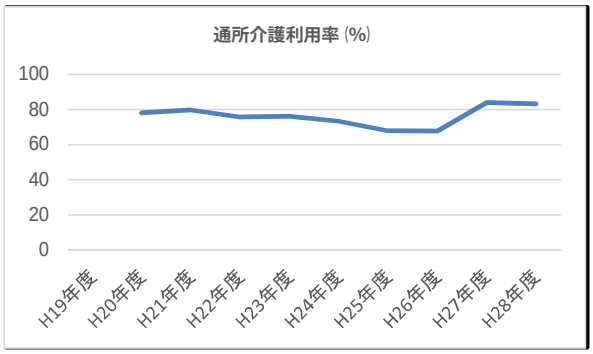
勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動負債	-	17	-
還付未済金	-	0	-
特別区債	-	0	-
賞与引当金	-	0	-
その他の流動負債	-	17	-
固定負債	-	49,000	-
特別区債	-	49,000	-
退職給与引当金	-	0	-
その他の固定負債	-	0	-
負債の部合計	-	49,017	-
正味財産	-	236,061	-
正味財産の部合計	-	236,061	-
負債及び正味財産の部合計	-	285,078	-

備考	介護保険事業収益により運営を行っており、指定管理委託料は支出していない。物件費には、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」「家族介護者教室」等の業務委託料や、防犯カメラ設置の費用が含まれる。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	59.4	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	27.5	-
	１㎡あたりコスト（円）	-	-	-	18,595	-
	人にかかるコストの割合（指定管理）（%）	-	-	-	64.2	-
	開館１日当たりコスト（円）	-	-	-	64,734	-
	延べ利用者１人当たりコスト（円）	-	-	-	2,220	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	●　無　　○　有　（計画名：　　）						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	利用率(通所介護)	目標値	80	80	80	75	75
		実績値	68	68	84	83	75
施設運営の方向性	○　転用･多目的化　○　民営化　○　他施設との統合　○　廃止 ●　現状維持　○　その他（　　）						
管理形態の変更の推移	●　有　（変更内容：平成18年度より委託から指定管理に変更　） ○　無						
現状・課題	○建設から23年経過し、施設設備等の老朽化が進んでいる。 ○平成28年度の利用率は83.3%と良好である。引き続き利用率の維持もしくは低下しないようにする必要がある。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○利用者の利便性に配慮し、施設の機能、性能の保全に努めながら計画的に改修を実施する。 ○利用者のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、さらなる周知を図っていく。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。						
議会、利用者等からの意見							



平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	東日暮里在宅高齢者通所サービスセンター				
所在地	東日暮里三丁目8番16号（作業所ボンエルフ併設）				
所管部署	福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費（単位:千円）	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成6年	800,000			
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	平成6年8月8日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成6年11月1日		職員数	20	0
構造	ＲＣ造		階層	地上3階　地下1階	
面積	敷地面積		1,010.54㎡		
	延床面積		1,124.87/2,038.53㎡		
設置目的・経緯	在宅の虚弱又は機能障害のある高齢者が寝たきりにならないようきめ細やかなサービスを実施。				
関連部署					
根拠法令等設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例及び規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー対応状況	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無		○ 点字ブロック	● スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人　東京都福祉事業協会	期間	平成26年度	から
				平成30年度	まで
事業内容	①　日常生活の上で必要な介護サービスの提供　②　身体機能の維持向上のための機能訓練 ③　健康管理に関すること　④　趣味・生きがい活動　⑤　自立した日常生活を送るための日常動作訓練　⑥　送迎・入浴サービスの提供　⑦　利用者及びその家族からの相談受付、指導・助言				
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者				
運営時間等	運営時間	午前8時30分から午後6時15分			
	休日	日曜日、祝日、12月29日から1月3日			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
通所介護利用率（%）	69.8	64.2	64.9	62.6	75.0
認知症対応型通所介護利用率（%）	34.9	29.6	25.3	23.8	50.0
営業日数（日）	-	-	-	293	-

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
通所介護：定員(人)	40	40	40	40	40
認知症対応型通所介護:定員（人）	12	12	12	12	12
指定管理者の支出合計（千円）	119,761	107,929	108,234	107,389	-
指定管理者の人件費（千円）	91,230	80,010	81,627	83,101	-

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政費用	給与関係費	-	0	-
	物件費	-	957	-
	維持補修費	-	0	-
	扶助費	-	0	-
	補助費等	-	0	-
	減価償却費	-	20,347	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-
	その他行政費用	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	21,304	-
特別費用(g)		-	0	-
特別収支差額(f)-(g)=(h)		-	0	-

行政収入	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
	地方税等	-	0	-
	国庫支出金	-	0	-
	都支出金	-	0	-
	分担金及び負担金	-	0	-
	使用料及び手数料	-	0	-
	その他	-	0	-
	行政収入合計(a)	-	0	-
行政収支差額(a)-(b)=(c)		-	▲ 21,304	-
金融収支差額(d)		-	0	-
通常収支差額(c)+(d)=(e)		-	▲ 21,304	-
特別収入(f)		-	0	-
当期収支差額(e)+(h)		-	▲ 21,304	-

貸借対照表	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動資産	収入未済	-	0	-
	不納欠損引当金	-	0	-
	その他の流動資産	-	▲ 50	-
固定資産	有形固定資産	-	327,437	-
	土地	-	21,474	-
	建物	-	753,604	-
	建物減価償却累計額	-	▲ 447,641	-
	工作物等	-	18,748	-
	工作物等減価償却累計額	-	▲ 18,748	-
	無形固定資産	-	0	-
	建設仮勘定	-	0	-
	その他の固定資産	-	0	-
資産の部合計		-	327,387	-

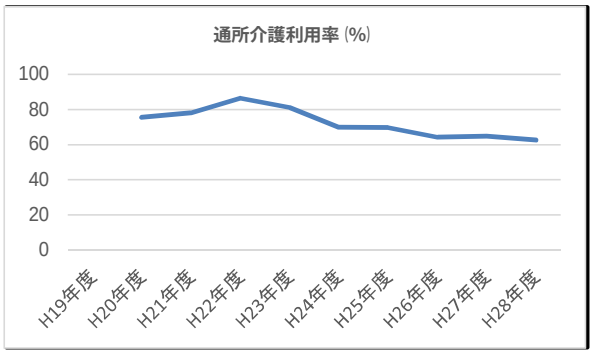
勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動負債	-	50	-
還付未済金	-	0	-
特別区債	-	0	-
賞与引当金	-	0	-
その他の流動負債	-	50	-
固定負債	-	0	-
特別区債	-	0	-
退職給与引当金	-	0	-
その他の固定負債	-	0	-
負債の部合計	-	50	-
正味財産	-	327,337	-
正味財産の部合計	-	327,337	-
負債及び正味財産の部合計	-	327,387	-

備考	介護保険事業収益により運営を行っており、指定管理委託料は支出していない。物件費には、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」「家族介護者教室」等の業務委託料や、防犯カメラ設置費用が含まれる。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	60.4	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	29.3	-
	１㎡あたりコスト（円）	-	-	-	18,939	-
	人に対するコストの割合（指定管理）（%）	-	-	-	77.4	-
	開館１日当たりコスト（円）	-	-	-	72,710	-
	延べ利用者１人当たりコスト（円）	-	-	-	2,904	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	●　無　　○　有　（計画名：　　）						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	利用率(通所介護)	目標値	80	80	80	75	75
		実績値	70	64	65	63	75
施設運営の方向性	○　転用･多目的化　○　民営化　○　他施設との統合　○　廃止 ●　現状維持　○　その他（　　）						
管理形態の変更の推移	●　有　（変更内容：平成18年度より委託から指定管理に変更　　） ○　無						
現状・課題	○建設から23年経過し、施設設備等の老朽化が進んでいる。 ○平成28年度の利用率は62.6%で十分な利用率とは言えず、利用率を向上させるための改善が必要である。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○利用者の利便性に配慮し、施設の機能、性能の保全に努めながら計画的に改修を実施する。 ○利用者のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、さらなる周知を図っていく。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。						
議会、利用者等からの意見							



平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	西日暮里在宅高齢者通所サービスセンター				
所在地	西日暮里五丁目36番1号				
所管部署	福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費（単位:千円）	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成2年	250,000			
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	平成2年12月19日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成3年2月1日		職員数	28	0
構造	ＲＣ造		階層	地上4階　地下1階	
面積	敷地面積		248.69㎡		
	延床面積		679.24㎡		
設置目的・経緯	在宅の虚弱又は機能障害のある高齢者が寝たきりにならないようきめ細やかなサービスを実施。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例及び規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー対応状況	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無		○ 点字ブロック	● スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人　聖風会	期間	平成26年度	から
				平成30年度	まで
事業内容	①　日常生活の上で必要な介護サービスの提供　②　身体機能の維持向上のための機能訓練 ③　健康管理に関すること　④　趣味・生きがい活動　⑤　自立した日常生活を送るための日常動作訓練　⑥　送迎・入浴サービスの提供　⑦　利用者及びその家族からの相談受付、指導・助言				
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者				
運営時間等	運営時間	午前9時から午後5時			
	休日	日曜日、1月1日から1月3日			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
通所介護利用率（%）	84.6	82.1	75.4	76.4	75.0
営業日数（日）	-	-	-	311	-

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
通所介護：定員（人）	40	40	40	40	40
指定管理者の支出合計（千円）	99,295	107,235	107,060	116,779	-
指定管理者の人件費（千円）	66,772	72,639	78,171	87,697	-

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政費用	給与関係費	-	0	-
	物件費	-	4,317	-
	維持補修費	-	0	-
	扶助費	-	0	-
	補助費等	-	0	-
	減価償却費	-	6,624	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-
	その他行政費用	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	10,941	-
特別費用(g)		-	0	-
特別収支差額(f)-(g)=(h)		-	0	-

行政収入	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
	地方税等	-	0	-
	国庫支出金	-	0	-
	都支出金	-	0	-
	分担金及び負担金	-	0	-
	使用料及び手数料	-	0	-
	その他	-	0	-
	行政収入合計(a)	-	0	-
行政収支差額(a)-(b)=(c)		-	▲ 10,941	-
金融収支差額(d)		-	0	-
通常収支差額(c)+(d)=(e)		-	▲ 10,941	-
特別収入(f)		-	0	-
当期収支差額(e)+(h)		-	▲ 10,941	-

貸借対照表	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動資産	収入未済	-	0	-
	不納欠損引当金	-	0	-
	その他の流動資産	-	▲ 147	-
固定資産	有形固定資産	-	130,986	-
	土地	-	57,876	-
	建物	-	245,336	-
	建物減価償却累計額	-	▲ 172,226	-
	工作物等	-	2,569	-
	工作物等減価償却累計額	-	▲ 2,569	-
	無形固定資産	-	0	-
	建設仮勘定	-	0	-
	その他の固定資産	-	0	-
資産の部合計		-	130,839	-

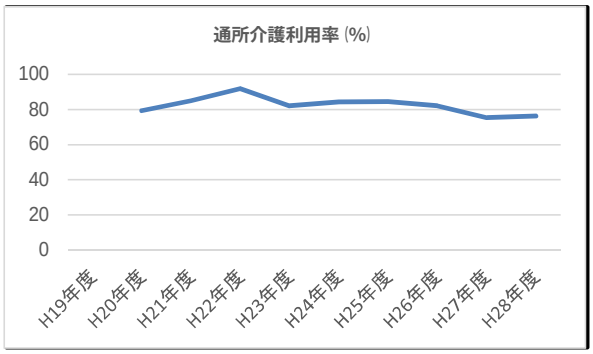
勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動負債	-	33	-
還付未済金	-	0	-
特別区債	-	0	-
賞与引当金	-	0	-
その他の流動負債	-	33	-
固定負債	-	0	-
特別区債	-	0	-
退職給与引当金	-	0	-
その他の固定負債	-	0	-
負債の部合計	-	33	-
正味財産	-	130,806	-
正味財産の部合計	-	130,806	-
負債及び正味財産の部合計	-	130,839	-

備考	介護保険事業収益により運営を行っており、指定管理委託料は支出していない。物件費には、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」「家族介護者教室」「談話室運営費」等の業務委託料や、防犯カメラ設置費用が含まれる。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	70.5	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	33.2	-
	１㎡あたりコスト（円）	-	-	-	16,108	-
	人にかかるコストの割合（指定管理）（%）	-	-	-	75.1	-
	開館１日当たりコスト（円）	-	-	-	35,180	-
	延べ利用者１人当たりコスト（円）	-	-	-	1,151	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	●　無　　○　有　（計画名：　　）						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	利用率(通所介護)	目標値	80	80	80	75	75
		実績値	85	82	75	76	75
施設運営の方向性	○　転用･多目的化　○　民営化　○　他施設との統合　○　廃止 ●　現状維持　○　その他（　　）						
管理形態の変更の推移	●　有　（変更内容：平成18年度より委託から指定管理に変更　） ○　無						
現状・課題	○建設から27年経過し、施設設備等の老朽化が進んでいる。 ○平成28年度の利用率は76.4%と良好である。低下傾向にある利用率を向上させるための改善が必要である。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○利用者の利便性に配慮し、施設の機能、性能の保全に努めながら計画的に改修を実施する。 ○利用者のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、さらなる周知を図っていく。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。						
議会、利用者等からの意見							



平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	老人福祉センター				
所在地	荒川一丁目34番6号（荒川東部在宅高齢者通所サービスセンター併設）				
所管部署	福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費（単位:千円）	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成6年	600,000			
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	平成6年9月28日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成6年12月1日		職員数	12	2
構造	ＲＣ造		階層	地上4階地下１階	
面積	敷地面積		777.68㎡		
	延床面積		1,052.72/2,021.17㎡		
設置目的・経緯	高齢者が住み慣れた地域の中で教養を高め、明るく豊かな高齢期を過ごすことができるようにする。				
関連部署	高齢者福祉課				
根拠法令等設置条例	荒川区立荒川老人福祉センター条例・施行規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー対応状況	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	33台		○ 点字ブロック	● スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人　荒川区社会福祉協議会	期間	平成26年度	から
				平成30年度	まで
事業内容	①生活相談（介護・福祉・就労等、生活全般の相談） ②健康審査・相談（嘱託医による問診・血圧測定などの健康審査） ③機能訓練（脳卒中などによる後遺症や身体機能の低下が認められる要介護認定非該当の方を対象） ④入浴サービス　⑤各種行事　⑥各種教室・定例事業　⑦いこい室事業　⑧介護予防事業				
対象者	満60歳以上の方				
運営時間等	運営時間	午前9時から午後5時　施設を団体の利用に供する場合午前9時から午後10時			
	休日	日曜日（事業実施による開館日を除く）祝日（敬老の日を除く）　年末年始（12月29日から1月3日。1月1日を除く）			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
入館者数（人）	48,512	43,614	47,345	45,948	46,000
新規登録者数（人）	586	570	622	515	550

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
開所日数（日）	297	273	297	296	297
指定管理料（千円）	55,345	61,870	55,498	67,755	-
指定管理者の支出合計（千円）	55,345	61,870	55,498	67,755	-
指定管理者の人件費（千円）	36,509	37,028	38,857	44,189	-

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政費用	給与関係費	-	0	-
	物件費	-	67,756	-
	維持補修費	-	0	-
	扶助費	-	0	-
	補助費等	-	0	-
	減価償却費	-	17,353	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-
	その他行政費用	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	85,109	-
特別費用(g)		-	0	-
特別収支差額(f)-(g)=(h)		-	0	-

行政収入	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
	地方税等	-	0	-
	国庫支出金	-	0	-
	都支出金	-	481	-
	分担金及び負担金	-	0	-
	使用料及び手数料	-	2	-
	その他	-	120	-
	行政収入合計(a)	-	603	-
行政収支差額(a)-(b)=(c)		-	▲ 84,506	-
金融収支差額(d)		-	0	-
通常収支差額(c)+(d)=(e)		-	▲ 84,506	-
特別収入(f)		-	0	-
当期収支差額(e)+(h)		-	▲ 84,506	-

貸借対照表	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動資産	収入未済	-	0	-
	不納欠損引当金	-	0	-
	その他の流動資産	-	▲ 5,928	-
固定資産	有形固定資産	-	226,889	-
	土地	-	24,485	-
	建物	-	657,197	-
	建物減価償却累計額	-	▲ 454,792	-
	工作物等	-	13,510	-
	工作物等減価償却累計額	-	▲ 13,510	-
	無形固定資産	-	0	-
	建設仮勘定	-	0	-
	その他の固定資産	-	4,526	-
資産の部合計		-	225,487	-

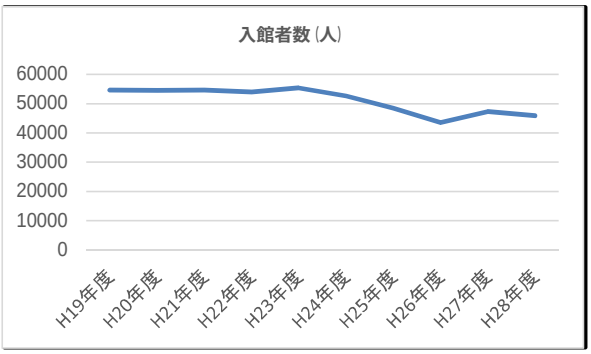
勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動負債	-	0	-
還付未済金	-	0	-
特別区債	-	0	-
賞与引当金	-	0	-
その他の流動負債	-	0	-
固定負債	-	0	-
特別区債	-	0	-
退職給与引当金	-	0	-
その他の固定負債	-	0	-
負債の部合計	-	0	-
正味財産	-	225,487	-
正味財産の部合計	-	225,487	-
負債及び正味財産の部合計	-	225,487	-

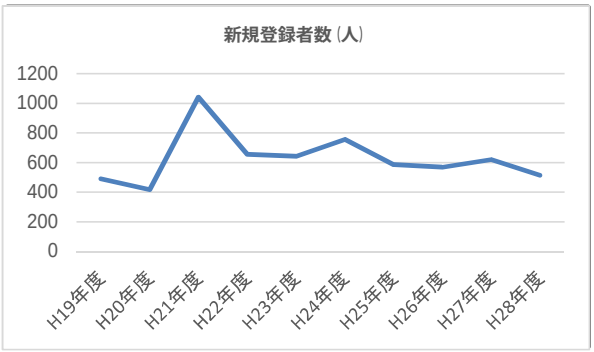
備考	
	物件費は、指定管理料委託費として67,756千円を支出している。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	69.8	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	33.4	-
	１㎡当たりコスト（円）	-	-	-	80,847	-
	人にかかるコストの割合（指定管理）（%）	65.9	59.8	70.0	65.2	-
	開館１日当たりコスト（円）	186,346	226,630	186,865	287,530	-
	入館者１人当たりコスト（円）	1,140	1,418	1,172	1,852	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無　○ 有　（計画名：　　）						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	延べ利用者数	目標値	68,000	68,000	69,000	69,000	70,000
		実績値	69,498	64,738	74,737	69,130	70,000
施設運営の方向性	○ 転用･多目的化　○ 民営化　○ 他施設との統合　○ 廃止 ● 現状維持　○ その他（　　）						
管理形態の変更の推移	● 有　（変更内容：平成18年度より委託から指定管理に変更　） ○ 無						
現状・課題	○介護予防に重点を置いた事業の新たなる展開や啓発方法を発展させる必要がある。 ○各種教室については、利用状況等を確認しながら内容を更新するとともに、入館者数の増加に伴い、それぞれの年齢層に応じた事業展開を検討する必要がある。 ○建設から23年が経過し、給排水設備等の施設の老朽化が目立ってきている。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○介護予防に特化したプログラムを実施するとともに、高齢者福祉課と連携し事業の整理充実強化に努める。 ○それぞれの年齢層に応じた教室・講座等を実施するよう取り組む。 ○各設備の改修を計画的に実施していく。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。						
議会、利用者等からの意見							





平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	福祉部分室				
所在地	南千住一丁目13番20号				
所管部署	福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費（単位:千円）	財源内容（単位：千円） 国・都	区債	一般財源
建築	昭和47年	40,000			
増改築①	昭和57年	50,000			
増改築②					
竣工年月日	昭和47年3月9日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成12年2月1日		職員数	20人・38人	臨時25人
構造	ＲＣ造		階層	地上3階	
面積	敷地面積		274.50㎡		
	延床面積		762.78㎡		
設置目的・経緯	南千住図書館と南千住第三幼稚園舎。2000年2月1日に南千住図書館と南千住第三幼稚園の一部を福祉部分室に用途変更。				
関連部署	教育施設課				
根拠法令等 設置条例					
駐車場の状況	無	バリアフリー対応状況	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	10台		○ 点字ブロック	○ スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から
				-	まで
事業内容	行政財産使用許可によって荒川区社会福祉協議会に福祉部分室の使用を許可しており、荒川区社会福祉協議会本部として使用している。 福祉部分室は、南千住第三幼稚園と併設しているため、その管理費は教育委員会と協議して支出する。				
対象者	区内在住・在勤・在学の方				
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分			
	休日	日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
年間利用者数（人）	23,000	26,100	25,100	24,000	25,000

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
社協会員数（個人）	3,506	3,226	3,150	3,025	3,150
社協会員数（団体）	143	136	143	132	140
ボランティア登録数	1,826	1,121	7,396	7,691	7,544
※ボランティア登録数は27年度よりカウント方法変更					
団体数から団体加入者数					

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政費用	給与関係費	-	0	-
	物件費	-	3,348	-
	維持補修費	-	531	-
	扶助費	-	0	-
	補助費等	-	0	-
	減価償却費	-	2,793	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-
	その他行政費用	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	6,672	-
特別費用(g)		-	0	-
特別収支差額(f)-(g)=(h)		-	0	-

行政収入	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
	地方税等	-	0	-
	国庫支出金	-	0	-
	都支出金	-	0	-
	分担金及び負担金	-	0	-
	使用料及び手数料	-	0	-
	その他	-	2,223	-
行政収入合計(a)		-	2,223	-
行政収支差額(a)-(b)=(c)		-	▲ 4,449	-
金融収支差額(d)		-	0	-
通常収支差額(c)+(d)=(e)		-	▲ 4,449	-
特別収入(f)		-	0	-
当期収支差額(e)+(h)		-	▲ 4,449	-

貸借対照表	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動資産	収入未済	-	0	-
	不納欠損引当金	-	0	-
	その他の流動資産	-	0	-
固定資産	有形固定資産	-	55,970	-
	土地	-	0	-
	建物	-	103,456	-
	建物減価償却累計額	-	▲ 47,486	-
	工作物等	-	0	-
	工作物等減価償却累計額	-	0	-
	無形固定資産	-	0	-
	建設仮勘定	-	0	-
	その他の固定資産	-	0	-
資産の部合計		-	55,970	-

勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動負債	-	0	-
還付未済金	-	0	-
特別区債	-	0	-
賞与引当金	-	0	-
その他の流動負債	-	0	-
固定負債	-	0	-
特別区債	-	0	-
退職給与引当金	-	0	-
その他の固定負債	-	0	-
負債の部合計	-	0	-
正味財産	-	55,970	-
正味財産の部合計	-	55,970	-
負債及び正味財産の部合計	-	55,970	-

備考	
	物件費は、委託料（設備保守点検等）1,125千円、光熱水費2,223千円。光熱水費支出分2,223千円は、社会福祉協議会の負担分として収入している。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却（%）	-	-	-	45.9	-
	有形固定資産減価償却（８０年）（%）	-	-	-	32.1	-
	1㎡当たりコスト（円）	-	-	-	4,724	-
	光熱水費	2,690	2,835	2,620	2,223	2,515

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	●　無　　●　有　（計画名：　　）						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	-	目標値	-	-	-	-	-
		実績値	-	-	-	-	-
施設運営の方向性	○　転用･多目的化　○　民営化　○　他施設との統合　○　廃止 ●　現状維持　○　その他（　　）						
管理形態の変更の推移	●　有　（変更内容：平成12年2月より教育委員会より引き継ぎ　　） ○　無						
現状・課題	○昭和４７年に建てられた建物であるため、老朽化が進んでいる。また、南千住第三幼稚園と併設している。						
課題に対する現時点での考え	○改修の際は、併設の南千住第三幼稚園を管理してい教育委員会と調整、検討を行いつつ、必要な修繕を行っていく。						
議会、利用者等からの意見							

平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	西尾久七丁目住宅					
所在地	西尾久七丁目19番11号					
所管部署	福祉推進課					
施設の履歴		時期	建築費(単位:千円)	財源内容（単位：千円）		
				国・都	区債	一般財源
	建築	平成4年	借上型			
	増改築①					
	増改築②					
竣工年月日	平成4年4月21日				常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成4年4月28日			職員数	1	
構造	ＲＣ造			階層	地上7階（借上部分1～6階）	
面積	敷地面積		507.04㎡			
	延床面積		1,020.66㎡/1572.47㎡			
設置目的・経緯	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、区営住宅として管理運営する。					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	公営住宅法及び同施行令、区営住宅条例及び施行規則、東京都シルバーピア事業運営要綱					
駐車場の状況	無	バリアフリー対応状況	● エレベーター	○ だれでもトイレ		
駐輪場の状況	無		○ 点字ブロック	○ スロープ		

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	株式会社東急コミュニティー	期間	平成27年4月1日	から
				平成30年3月31日	まで
事業内容	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、借り上げた住宅を区営住宅として管理運営する。指定管理者は、区営住宅、共同施設及び附帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務のほか、区長が必要と認める業務を実施する。				
対象者	住宅に困窮する高齢者で、申込要件に該当する者				
運営時間等	運営時間	24時間			
	休日	なし			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
入居世帯数（世帯）	34	35	36	35	35
入居率（%）	94	97	95	93	95

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
全体の戸数（戸）	34	34	34	34	34
申込み倍率（倍）	7	8	7	8	8
指定管理料（千円）※	32,743	25,355	24,461	18,664	-
※区営住宅（5棟）の指定管理料合計					

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

	勘定科目	H27年度	H28年度	差額	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政コスト計算書	行政費用 給与関係費	-	0	-	行政収入 地方税等	-	0	-
	物件費	-	45,591	-	国庫支出金	-	0	-
	維持補修費	-	0	-	都支出金	-	600	-
	扶助費	-	0	-	分担金及び負担金	-	0	-
	補助費等	-	923	-	使用料及び手数料	-	5,673	-
	減価償却費	-	0	-	その他	-	35,071	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-	行政収入合計(a)	-	41,344	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-	行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲ 5,170	-
	その他行政費用	-	0	-	金融収支差額(d)	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	46,514	-	通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲ 5,170	-
	特別費用(g)	-	0	-	特別収入(f)	-	0	-
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-	当期収支差額(e)+(h)	-	▲ 5,170	-

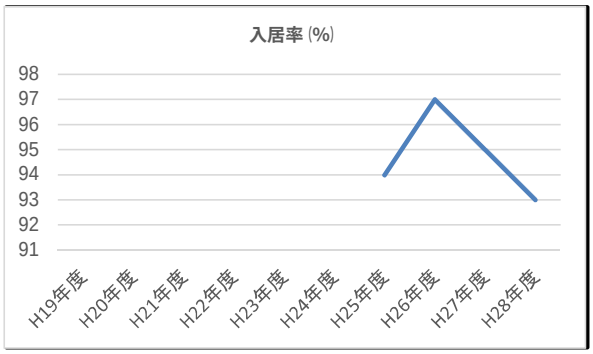
	勘定科目	H27年度	H28年度	差額	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
貸借対照表	流動資産 収入未済	-	230	-	流動負債	-	0	-
	不納欠損引当金	-	0	-	還付未済金	-	0	-
	その他の流動資産	-	0	-	特別区債	-	0	-
	固定資産 有形固定資産	-	0	-	賞与引当金	-	0	-
	土地	-	0	-	その他の流動負債	-	0	-
	建物	-	0	-	固定負債	-	0	-
	建物減価償却累計額	-	0	-	特別区債	-	0	-
	工作物等	-	0	-	退職給与引当金	-	0	-
	工作物等減価償却累計額	-	0	-	その他の固定負債	-	0	-
	無形固定資産	-	0	-	負債の部合計	-	0	-
	建設仮勘定	-	0	-	正味財産	-	230	-
	その他の固定資産	-	0	-	正味財産の部合計	-	230	-
	資産の部合計	-	230	-	負債及び正味財産の部合計	-	230	-

備考	行政費用では、物件費が40,640千円を占めている。内訳として、需用費に1,537千円、役務費に287千円、委託料に4,951千円、使用料及び賃借料に33,864千円を支出している。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	-	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	-	-
	1㎡当たりコスト（円）	-	-	-	45,572	-
	受益者負担比率（%）	-	-	-	12.2	-
	1部屋当たりコスト（円）	-	-	-	1,368,059	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無　○ 有　(計画名：　　)						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	入居率（%）	目標値	—	—	—	—	95
		実績値	94	97	95	93	95
施設運営の方向性	○ 転用･多目的化　○ 民営化　○ 他施設との統合　○ 廃止 ● 現状維持　○ その他（　　）						
管理形態の変更の推移	○ 有　(変更内容：　　) ● 無						
現状・課題	○空き室待ち登録者の応募数は多く、ニーズが高い。 ○施設の経年劣化、住宅設備の更新等による住宅改修費用が増大傾向にある。 ○高齢者用区営住宅の必要性はある一方、事業開始当初と住宅を取り巻く環境が変化したことから、改めてそのあり方を検討する必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○現状の規模で事業を継続しつつ、高齢者向け借上げ住宅の契約内容も含めて、高齢者住宅のあり方を検討していく。						
議会、利用者等からの意見							



平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	町屋七丁目住宅				
所在地	町屋七丁目2番15号				
所管部署	福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費（単位:千円）	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成5年	700,000			
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	平成5年2月15日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成5年4月1日		職員数	1	
構造	ＳＲＣ造		階層	地上8階、地下1階	
面積	敷地面積		580.46㎡		
	延床面積		1,219.71㎡/2,131.88㎡		
設置目的・経緯	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、区営住宅として管理運営する。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	公営住宅法及び同施行令、区営住宅条例及び施行規則、東京都シルバーピア事業運営要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー対応状況	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無		○ 点字ブロック	○ スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	株式会社東急コミュニティー	期間	平成27年4月1日	から
				平成30年3月31日	まで
事業内容	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、区が建設した住宅を区営住宅として管理運営する。指定管理者は、区営住宅、共同施設及び附帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務のほか、区長が必要と認める業務を実施する。				
対象者	住宅に困窮する高齢者で、申込要件に該当する者				
運営時間等	運営時間	24時間			
	休日	なし			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
入居世帯数（世帯）	22	23	22	23	23
入居率（%）	83	94	96	96	95

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
全体の戸数（戸）	23	23	23	23	23
申込み倍率（倍）	7	8	7	8	8
指定管理料（千円）※	32,743	25,355	24,461	18,664	-
※区営住宅（5棟）の指定管理料合計					

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

	勘定科目	H27年度	H28年度	差額	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政コスト計算書	行政費用 給与関係費	-	0	-	行政収入 地方税等	-	0	-
	物件費	-	7,903	-	国庫支出金	-	0	-
	維持補修費	-	0	-	都支出金	-	600	-
	扶助費	-	0	-	分担金及び負担金	-	0	-
	補助費等	-	0	-	使用料及び手数料	-	4,275	-
	減価償却費	-	14,598	-	その他	-	723	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-	行政収入合計(a)	-	5,598	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-	行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲ 16,903	-
	その他行政費用	-	0	-	金融収支差額(d)	-	▲ 1,704	-
	行政費用合計(b)	-	22,501	-	通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲ 18,607	-
	特別費用(g)	-	0	-	特別収入(f)	-	0	-
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-	当期収支差額(e)+(h)	-	▲ 18,607	-

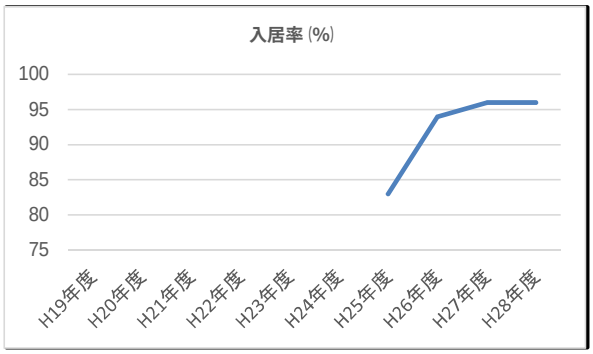
	勘定科目	H27年度	H28年度	差額	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
貸借対照表	流動資産 収入未済	-	0	-	流動負債	-	17,280	-
	不納欠損引当金	-	0	-	還付未済金	-	0	-
	その他の流動資産	-	0	-	特別区債	-	17,280	-
	固定資産 有形固定資産	-	313,203	-	賞与引当金	-	0	-
	土地	-	0	-	その他の流動負債	-	0	-
	建物	-	663,565	-	固定負債	-	0	-
	建物減価償却累計額	-	▲ 350,362	-	特別区債	-	0	-
	工作物等	-	0	-	退職給与引当金	-	0	-
	工作物等減価償却累計額	-	0	-	その他の固定負債	-	0	-
	無形固定資産	-	0	-	負債の部合計	-	17,280	-
	建設仮勘定	-	0	-	正味財産	-	295,923	-
	その他の固定資産	-	0	-	正味財産の部合計	-	295,923	-
	資産の部合計	-	313,203	-	負債及び正味財産の部合計	-	313,203	-

備考	行政費用では、物件費が5,840千円を占めている。内訳として、役務費に34千円、委託料に5,806千円を支出している。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	52.8	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	30.0	-
	1㎡当たりコスト（円）	-	-	-	18,448	-
	受益者負担比率（%）	-	-	-	19.0	-
	1部屋当たりコスト（円）	-	-	-	978,304	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無　○ 有　(計画名：　　)						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	入居率（%）	目標値	-	-	-	-	95
		実績値	83	94	96	96	95
施設運営の方向性	○ 転用･多目的化　○ 民営化　○ 他施設との統合　○ 廃止 ● 現状維持　○ その他（　　）						
管理形態の変更の推移	○ 有　(変更内容：　　) ● 無						
現状・課題	○空き室待ち登録者の応募数は多く、ニーズが高い。 ○施設の経年劣化、住宅設備の更新等による住宅改修費用が増大傾向にある。 ○高齢者用区営住宅の必要性はある一方、事業開始当初と住宅を取り巻く環境が変化したことから、改めてそのあり方を検討する必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○現状の規模で事業を継続しつつ、高齢者住宅のあり方を検討していく。						
議会、利用者等からの意見							



平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	西尾久三丁目住宅				
所在地	西尾久三丁目21番12号				
所管部署	福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費（単位:千円）	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成5年	借上型			
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	平成5年7月8日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成5年7月29日		職員数		1
構造	ＳＲＣ造		階層	地上9階（借上部分3～8階）	
面積	敷地面積		668.64㎡		
	延床面積		1,255.49㎡/2604.49㎡		
設置目的・経緯	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、区営住宅として管理運営する。				
関連部署					
根拠法令等設置条例	公営住宅法及び同施行令、区営住宅条例及び施行規則、東京都シルバーピア事業運営要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー対応状況	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無		○ 点字ブロック	○ スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	株式会社東急コミュニティー	期間	平成27年4月1日	から
				平成30年3月31日	まで
事業内容	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、借り上げた住宅を区営住宅として管理運営する。指定管理者は、区営住宅、共同施設及び附帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務のほか、区長が必要と認める業務を実施する。				
対象者	住宅に困窮する高齢者で、申込要件に該当する者				
運営時間等	運営時間	24時間			
	休日	なし			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
入居世帯数（世帯）	39	41	40	40	40
入居率（%）	89	94	97	96	96

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
全体の戸数（戸）	39	39	39	39	39
申込み倍率（倍）	7	8	7	8	8
指定管理料（千円）※	32,743	25,355	24,461	18,664	-
※区営住宅（5棟）の指定管理料合計					

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

	勘定科目	H27年度	H28年度	差額	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政コスト計算書	行政費用 給与関係費	-	0	-	行政収入 地方税等	-	0	-
	物件費	-	56,268	-	国庫支出金	-	0	-
	維持補修費	-	0	-	都支出金	-	600	-
	扶助費	-	0	-	分担金及び負担金	-	0	-
	補助費等	-	2,131	-	使用料及び手数料	-	6,824	-
	減価償却費	-	0	-	その他	-	1,642	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-	行政収入合計(a)	-	9,066	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-	行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲ 49,333	-
	その他行政費用	-	0	-	金融収支差額(d)	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	58,399	-	通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲ 49,333	-
	特別費用(g)	-	0	-	特別収入(f)	-	0	-
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-	当期収支差額(e)+(h)	-	▲ 49,333	-

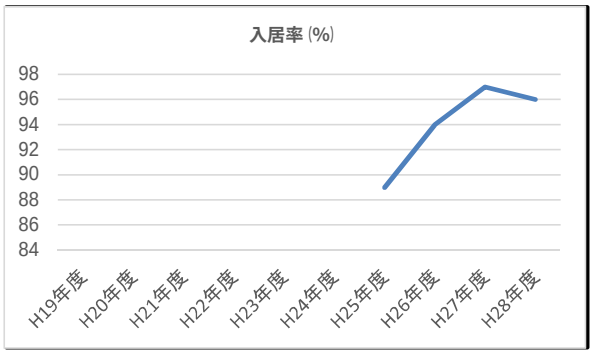
	勘定科目	H27年度	H28年度	差額	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
貸借対照表	流動資産 収入未済	-	165	-	流動負債	-	0	-
	不納欠損引当金	-	0	-	還付未済金	-	0	-
	その他の流動資産	-	0	-	特別区債	-	0	-
	固定資産 有形固定資産	-	0	-	賞与引当金	-	0	-
	土地	-	0	-	その他の流動負債	-	0	-
	建物	-	0	-	固定負債	-	0	-
	建物減価償却累計額	-	0	-	特別区債	-	0	-
	工作物等	-	0	-	退職給与引当金	-	0	-
	工作物等減価償却累計額	-	0	-	その他の固定負債	-	0	-
	無形固定資産	-	0	-	負債の部合計	-	0	-
	建設仮勘定	-	0	-	正味財産	-	165	-
	その他の固定資産	-	0	-	正味財産の部合計	-	165	-
	資産の部合計	-	165	-	負債及び正味財産の部合計	-	165	-

備考	行政費用では、物件費が51,954千円と大部分を占めている。内訳として、需用費に940千円、役務費に34千円、委託料に5,740千円、使用料及び賃借料に45,240千円を支出している。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	-	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	-	-
	1㎡当たりコスト（円）	-	-	-	46,515	-
	受益者負担比率（%）	-	-	-	11.7	-
	1部屋当たりコスト（円）	-	-	-	1,497,410	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無　○ 有　(計画名：　　)						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	入居率（%）	目標値	-	-	-	-	96
		実績値	89	94	97	96	96
施設運営の方向性	○ 転用･多目的化　○ 民営化　○ 他施設との統合　○ 廃止 ● 現状維持　○ その他（　　）						
管理形態の変更の推移	○ 有　(変更内容：　　) ○ 無						
現状・課題	○空き室待ち登録者の応募数は多く、ニーズが高い。 ○施設の経年劣化、住宅設備の更新等による住宅改修費用が増大傾向にある。 ○高齢者用区営住宅の必要性はある一方、事業開始当初と住宅を取り巻く環境が変化したことから、改めてそのあり方を検討する必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○現状の規模で事業を継続しつつ、高齢者向け借上げ住宅の契約内容も含めて、高齢者住宅のあり方を検討していく。						
議会、利用者等からの意見							



平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	南千住二丁目住宅				
所在地	南千住二丁目32番3号				
所管部署	福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費(単位:千円)	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成5年	借上型			
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	平成5年5月12日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成5年5月21日		職員数		1
構造	ＲＣ造		階層	地上8階	
面積	敷地面積		224.59㎡		
	延床面積		692.12㎡/946.38㎡		
設置目的・経緯	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、区営住宅として管理運営する。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	公営住宅法及び同施行令、区営住宅条例及び施行規則、東京都シルバーピア事業運営要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー対応状況	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無		○ 点字ブロック	○ スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	株式会社東急コミュニティー	期間	平成27年4月1日	から
				平成30年3月31日	まで
事業内容	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、借り上げた住宅を区営住宅として管理運営する。指定管理者は、区営住宅、共同施設及び附帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務のほか、区長が必要と認める業務を実施する。				
対象者	住宅に困窮する高齢者で、申込要件に該当する者				
運営時間等	運営時間	24時間			
	休日	なし			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
入居世帯数（世帯）	18	18	18	18	18
入居率（%）	97	95	95	96	95

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
全体の戸数（戸）	18	18	18	18	18
申込み倍率（倍）	7	8	7	8	8
指定管理料（千円）※	32,743	25,355	24,461	18,664	-
※区営住宅（5棟）の指定管理料合計					

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

	勘定科目	H27年度	H28年度	差額	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政コスト計算書	行政費用 給与関係費	-	0	-	行政収入 地方税等	-	0	-
	物件費	-	33,530	-	国庫支出金	-	0	-
	維持補修費	-	0	-	都支出金	-	600	-
	扶助費	-	0	-	分担金及び負担金	-	0	-
	補助費等	-	1,854	-	使用料及び手数料	-	3,764	-
	減価償却費	-	0	-	その他	-	572	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-	行政収入合計(a)	-	4,936	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-	行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲ 30,448	-
	その他行政費用	-	0	-	金融収支差額(d)	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	35,384	-	通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲ 30,448	-
	特別費用(g)	-	0	-	特別収入(f)	-	0	-
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-	当期収支差額(e)+(h)	-	▲ 30,448	-

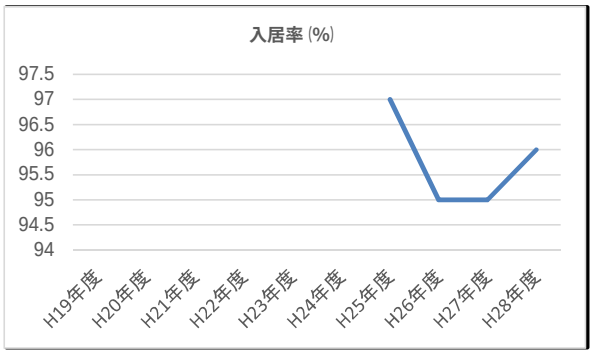
	勘定科目	H27年度	H28年度	差額	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
貸借対照表	流動資産 収入未済	-	18	-	流動負債	-	0	-
	不納欠損引当金	-	0	-	還付未済金	-	0	-
	その他の流動資産	-	0	-	特別区債	-	0	-
	固定資産 有形固定資産	-	0	-	賞与引当金	-	0	-
	土地	-	0	-	その他の流動負債	-	0	-
	建物	-	0	-	固定負債	-	0	-
	建物減価償却累計額	-	0	-	特別区債	-	0	-
	工作物等	-	0	-	退職給与引当金	-	0	-
	工作物等減価償却累計額	-	0	-	その他の固定負債	-	0	-
	無形固定資産	-	0	-	負債の部合計	-	0	-
	建設仮勘定	-	0	-	正味財産	-	18	-
	その他の固定資産	-	0	-	正味財産の部合計	-	18	-
	資産の部合計	-	18	-	負債及び正味財産の部合計	-	18	-

備考	行政費用では、物件費が30,940千円と大部分を占めている。内訳として、需用費に576千円、役務費に33千円、委託料に4,016千円、使用料及び賃借料に26,315千円を支出している。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	-	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	-	-
	1㎡当たりコスト（円）	-	-	-	51,124	-
	受益者負担比率（%）	-	-	-	10.6	-
	1部屋当たりコスト（円）	-	-	-	1,965,778	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無　○ 有　(計画名：　　)						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	入居率（%）	目標値	—	—	—	—	95
		実績値	97	95	95	96	95
施設運営の方向性	○ 転用･多目的化　○ 民営化　○ 他施設との統合　○ 廃止 ● 現状維持　○ その他（　　）						
管理形態の変更の推移	○ 有　(変更内容：　　) ● 無						
現状・課題	○空き室待ち登録者の応募数は多く、ニーズが高い。 ○施設の経年劣化、住宅設備の更新等による住宅改修費用が増大傾向にある。 ○高齢者用区営住宅の必要性はある一方、事業開始当初と住宅を取り巻く環境が変化したことから、改めてそのあり方を検討する必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○現状の規模で事業を継続しつつ、高齢者向け借上げ住宅の契約内容も含めて、高齢者住宅のあり方を検討していく。						
議会、利用者等からの意見							



平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	町屋五丁目住宅（区営）				
所在地	町屋五丁目9番2号				
所管部署	福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費（単位:千円）	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成9年	900,000			
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	平成10年3月31日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成10年5月1日		職員数	1	
構造	ＲＣ造		階層	地上22階、地下1階	
面積	敷地面積		4,990.61㎡		
	延床面積		2,934.06㎡/16,971.19㎡		
設置目的・経緯	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、区営住宅として管理運営する。				
関連部署	施設管理課				
根拠法令等 設置条例	公営住宅法及び同施行令、区営住宅条例及び施行規則、東京都シルバーピア事業運営要綱				
駐車場の状況	有	バリアフリー対応状況	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	有		○ 点字ブロック	○ スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	株式会社東急コミュニティー	期間	平成27年4月1日	から
				平成30年3月31日	まで
事業内容	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、区が建設した住宅を区営住宅として管理運営する。指定管理者は、区営住宅、共同施設及び附帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務のほか、区長が必要と認める業務を実施する。				
対象者	住宅に困窮する高齢者で、申込要件に該当する者				
運営時間等	運営時間	24時間			
	休日	なし			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
入居世帯数（世帯）	30	31	29	31	30
入居率（%）	92	94	100	97	97

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
全体の戸数（戸）	29	29	29	29	29
申込み倍率（倍）	7	8	7	8	8
指定管理料（千円）※	32,743	25,355	24,461	18,664	-
※区営住宅（5棟）の指定管理料合計					

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政費用	給与関係費	-	0	-
	物件費	-	11,324	-
	維持補修費	-	0	-
	扶助費	-	0	-
	補助費等	-	4,503	-
	減価償却費	-	20,325	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-
	その他行政費用	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	36,152	-
特別費用(g)		-	0	-
特別収支差額(f)-(g)=(h)		-	0	-

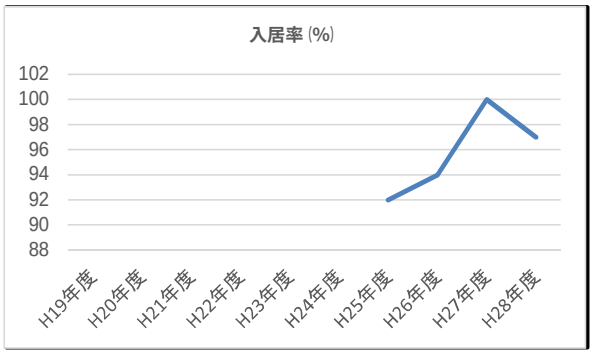
行政収入	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
	地方税等	-	0	-
	国庫支出金	-	0	-
	都支出金	-	600	-
	分担金及び負担金	-	0	-
	使用料及び手数料	-	7,222	-
	その他	-	809	-
	行政収入合計(a)	-	8,631	-
行政収支差額(a)-(b)=(c)		-	▲ 27,521	-
金融収支差額(d)		-	▲ 1,496	-
通常収支差額(c)+(d)=(e)		-	▲ 29,017	-
特別収入(f)		-	0	-
当期収支差額(e)+(h)		-	▲ 29,017	-

貸借対照表	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動資産	収入未済	-	238	-
	不納欠損引当金	-	0	-
	その他の流動資産	-	0	-
固定資産	有形固定資産	-	537,684	-
	土地	-	0	-
	建物	-	923,855	-
	建物減価償却累計額	-	▲ 386,172	-
	工作物等	-	0	-
	工作物等減価償却累計額	-	0	-
	無形固定資産	-	0	-
	建設仮勘定	-	0	-
	その他の固定資産	-	0	-
資産の部合計		-	537,922	-

勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動負債	-	10,169	-
還付未済金	-	0	-
特別区債	-	10,169	-
賞与引当金	-	0	-
その他の流動負債	-	0	-
固定負債	-	49,525	-
特別区債	-	49,525	-
退職給与引当金	-	0	-
その他の固定負債	-	0	-
負債の部合計	-	59,694	-
正味財産	-	478,228	-
正味財産の部合計	-	478,228	-
負債及び正味財産の部合計	-	537,922	-

備考	行政費用では、物件費が6,580千円を占めている。内訳として、需用費に1,795千円、役務費に40千円、委託料に4,745千円を支出している。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	41.8	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	24.4	-
	1㎡当たりコスト（円）	-	-	-	12,321	-
	受益者負担比率（%）	-	-	-	20.0	-
	1部屋当たりコスト（円）	-	-	-	1,246,621	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無　○ 有　(計画名：　　)						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	入居率（%）	目標値	-	-	-	-	97
		実績値	92	94	100	97	97
施設運営の方向性	○ 転用･多目的化　○ 民営化　○ 他施設との統合　○ 廃止 ● 現状維持　○ その他（　　）						
管理形態の変更の推移	○ 有　(変更内容：　　) ● 無						
現状・課題	○空き室待ち登録者の応募数は多く、ニーズが高い。 ○施設の経年劣化、住宅設備の更新等による住宅改修費用が増大傾向にある。 ○高齢者用区営住宅の必要性はある一方、事業開始当初と住宅を取り巻く環境が変化したことから、改めてそのあり方を検討する必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○現状の規模で事業を継続しつつ、高齢者住宅のあり方を検討していく。						
議会、利用者等からの意見